

漢方専門メーカーによる上位の理由

[表11] 漢方専門メーカーによる上位の理由

上位処方となっている理由	該当処方
風邪薬として	葛根湯、柴胡桂枝湯（胃腸風邪）、小柴胡湯（こじれた風邪）、麻黄附子細辛湯、駆風解毒湯・銀翹散（のど風邪）など
鼻炎・花粉症等で即効性のあるもの	小青竜湯、葛根湯加川芎辛夷、麻黄附子細辛湯
更年期の不定愁訴や婦人科系疾患など女性向けに	加味逍遥散、桂枝茯苓丸、当帰芍薬散（妊娠中の不調に服用できる）、温経湯、芍帰調血飲第一加減
補剤として疲労や倦怠感を訴えるものに	補中益気湯、十全大補湯、小建中湯
メタボ対策として	防風通聖散、防已黄耆湯
加齢対策、腎虚対策として	八味地黄丸、鹿茸大補湯、牛車腎気丸（加齢による腰痛対策）
大手医薬品メーカーの宣伝やテレビ報道などの情報により、消費者が用途を認識している	防風通聖散（メタボ対策）、抑肝散（痴呆周辺症状）
高齢者の鎮咳去痰薬として	麦門冬湯
特定の症状に関して用いやすい	五苓散（むくみ、二日酔い、水瀉性の下痢、水毒の頭痛）
泌尿器系の症状に関して用いやすい	五淋散、知柏地黄丸（頻尿、排尿障害）
不眠症・神経症の症状に関して用いやすい	加味帰脾湯
皮膚疾患に関して用いやすい	温清飲、清上防風湯（にきび）
痛みの疾患に関して用いやすい（関節痛、腰痛、神経痛など）	独活寄生丸（腰痛、しびれ、神経痛）、疎経活血湯（関節痛、腰痛、神経痛）
頭痛、めまい、耳鳴などの症状に関して用いやすい	苓桂朮甘湯、釣藤散
消化器症状に関して用いやすい	六君子湯（ストレスなどによる消化器虚弱）、五苓散（二日酔い、水瀉性下痢）、半夏瀉心湯（二日酔い、胃痛）、甘草瀉心湯（口内炎、下痢）
眼症状に関して用いやすい	杞菊地黄丸（かすみ目、疲れ目）